



# ながれ



## 国際理解の第一歩

副校長 岡安 寛

2018 サッカー・ワールドカップ ロシア大会が盛り上がりを見せています。時差の関係で、日本時間の深夜に試合が行われていることもあり、中継を見るのはなかなか難しいですが、ハイライトや特別番組を見ることがあります。日本代表チームの対戦相手を集める際に、チームや選手の分析だけでなく、その国の文化や風土、国民性などが紹介されることがあり、興味深いです。本校の給食でも、6月19日にはアロスコンポーシュなどのコロンビア料理、28日にはピゴスなどのポーランド料理が、ワールドカップ応援メニューとして提供されました。給食を通して、食文化を子どもたちに伝えています。

前回ブラジル大会の際、初戦のコートジボワールとの試合後、日本のサポーターが応援に使った青いポリ袋を使って、スタンドのごみを拾い集めてから帰ったことが話題になりました。地元紙に、「試合には負けましたが、礼儀正しさと高得点を挙げた」と評価されるなど、世界中から称賛されました。この青いポリ袋は、もともとは、応援道具として持ち込みが禁止された風船の代わりでした。日本がワールドカップに初出場した1998年フランス大会でも行っていたサポーターがいて、現地メディアにたたえられていたそうです。海外では、敗戦後やんがいない試合の後に、サポーターが暴れたり物を壊したりすることもあると聞きます。そのようなこともある中、今大会でも、日本のサポーターは初戦のコロンビア戦の後に会場のごみ拾いを行いました。ソーシャルメディアの働きもあって、サポーターの好プレーは世界中に発信され、日本のサポーターの行動を見た対戦国のサポーターもごみを拾うなど、この善行は広がりを見せています。「立つ鳥跡を濁さず」ともあるように、「来た時よりも美しく」と、子供の頃から教えられてきた日本の美德なのでしょう。

本校では、6月1日3・4校時に地域清掃活動を行いました。これは、5月30日（ごみゼロ）にちなみ新宿区全域で行われた「ごみゼロデー」の活動に合わせたものです。日頃、子どもたちが使っている通学路や公園を中心に、地域の方と一緒にごみを拾いました。ごみは、90リットルの袋6袋分にもなり、子供たちはごみの多さに驚くとともに、地域の一員として、町がきれいになったことを喜んでいました。

6月14日には、OKバジさんこと垣見一雅さんをゲストティーチャーにお招きし、4～6年生を対象に、ネパールにおける支援活動の実際についてお話しいただきました。ネパール連邦民主共和国は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた「世界ともだちプロジェクト」で本校が取り組む国の1つです。垣見さんから、医療支援、教育支援、水プロジェクト、生活インフラ改善、自立化支援について、取材を受けたテレビ番組の視聴や映像を通して具体的な話をうかがいました。4年生からは次のような感想がありました。「中学生で毎日20kgの水を運ぶのは大変で、水を普通に使えることに感謝したいと思います。」「『人を助けると笑顔が見られ、それだけで嬉しい』とおっしゃっていたのがすごかったです。」「ノートや服を作って、ネパールの人たちに喜んでほしいです。」これを機に、子供たちが、自分に何ができるか、学校全体でできることはあるかと、学んだことを深めたり広げたりすることができるよう声を掛け見守っていきます。



明日からロシア大会も決勝トーナメントに入ります。日本を応援するとともに、ほかの国々にも目を向け、サッカー以外のことも知って、より一層楽しみたいと思います。

### 【お知らせ】

第3学年から第6学年までの音楽につきましては、大浦 亜紀 講師が7月も引き続き指導することになりました。なお、林 愛奈 教諭は、1学期末より妊娠出産休暇に入ります。また、昨年度と同様に、目白大学からメンタルサポートボランティアが本校に派遣されています。大学3年の中山遥さんが、週に1日程度来校し、子供たちと遊んだり学習指導補助をしたりします。期間は今年度末までです。

## 「スイミー」の学習を通して

2年担任 高橋 遊・大橋 みずえ

「スイミー、きれいな生き物たちを見て元気を取り戻せてよかったね」「スイミーは賢くて、泳ぐのも速くてすごいね」「兄弟たちは食べられてしまって悲しかったけれど、スイミーが生きていてよかったよ」「またみんなで一緒に暮らせるようになってよかったね」

子どもたちが書いた、スイミーへの手紙の一部です。「スイミー」は子どもたちが大好きな物語です。物語の世界を想像したり、音読して表現したり、スイミーに言ってあげたいことを考えたりして、それぞれが物語を楽しみながら学習しました。スイミーの住む海の世界を想像し、自由に画用紙に描く活動にもすすんで取り組みました。様子や登場人物の気持ちを想像し、読むことの楽しさに気が付くことができたと感じています。

先日のおはなしコンチェルトでは、素敵な演奏とともに読み聞かせをしていただき、普段の学習とは異なるかたちでスイミーの世界に浸りました。これからもいろいろな物語に出会い、想像したり感じたりする経験をしてほしいです。

## 生活指導部より

生活指導主任 江蔵 弘文

<にこにこあいさつ隊>

「笑顔の挨拶で、自分も友達も元気になるろう！」を合言葉に、1年生の有志が登校時に校門に立って、約1か月間校長と一緒に挨拶をしました。挨拶された他学年の児童も自然に笑顔になり、挨拶の声もだんだんと大きくなっていきました。これからも、さわやかな挨拶が飛び交う明るい笑顔の戸三小となるように、この運動を他の学年にも広げていければと考えています。

<夏休みに向けて>

6月、高田馬場で痛ましい交通事故が起きたのは記憶に新しいところです。区外ではありますが、誘拐や性被害、薬物被害など、心配なことも度々起きています。また、お金を持って遊びに出かけ、友達同士でトラブルになることもあります。長期間にわたる夏休みは、子供たちにとって日常の学習から解放されるので、生活のリズムが崩れ、ルールもあいまいになってしまいがちです。夏休み前に「夏休みのしおり」を配布します。そのしおりを参考に、安全で健康的な夏休みになるように、御家庭で生活のルールの確認をお願いします。

## 図工室より

図工専科 山内 泰子

先日ウェブデザインの仕事をやる、かつての教え子に会う機会がありました。まだ学校教育にパソコンが入ったばかりの頃、とても簡単なお絵かきソフトや図案デザインを試した時の思い出話になり、たかだか十数年前のことですが、今の小学生の環境とはずいぶん違ったのだなあと思改めて感じました。当時のパソコンでは、小さな亀のカーソルがやたらゆっくり動いていたこと、今に比べると画像もかくかくしていたことなど懐かしく話しました。「その頃の体験が今の仕事につながっている？」と聞いてみると、「うーんそれはどうかかわからないけど、それよりもどろどろ絵の具で遊んだこととか、段ボールハウスを作ってみんなで転がったこととかはすごくよく覚えているよ。」と言っていました。「自分が小学生の頃、今の仕事を想像もしなかった。」とも言っていました。今の子供たちが大人になったときに、どのような仕事があり、どのような世の中になっているのか、予想もできません。

戸三小の図工室で子供たちはよく、ゲームのキャラクターの絵を描きたがったり、ユーチューブの話で盛り上がりたりしています。生まれた時から周りにPCやスマホがある世代ですので、知識や物の見方、感覚なども以前とはずいぶん違っていると思います。でも、どのような世の中になっても、自分の手を使って何かを作ったり描いたり触ったり試したりする経験は、変わらず大切だと思います。図工室での活動がそうなるように努めていきます。

## 7月の主な行事予定 (予定は変更になることもあります)

1	日	
2	月	全校朝会 歯磨き週間始 安全指導 委員会活動
3	火	B時程 4時間授業(全) 13時10分下校 神田川ファンクラブ 4年
4	水	B時程 4時間授業(全) 13時10分下校
5	木	児童・生徒の学力向上を図るための調査5年
6	金	歯磨き週間終 ころの劇場 6年
7	土	
8	日	
9	月	全校朝会 クラブ活動
10	火	着衣泳 3～6年 放課後学習教室
11	水	B時程 着衣泳 1・2年
12	木	高齢者施設訪問 6年
13	金	水道キャラバン 4年 放課後ゼミ
14	土	
15	日	サマーフェスティバル
16	月	【海の日】
17	火	コーディネーショントレーニング(3～6年) 放課後学習教室
18	水	B時程
19	木	給食終
20	金	終業式 B時程
21	土	夏休みわくわくスクール始
22	日	
23	月	夏季休業日始 個人面談①
24	火	夏季水泳指導① 夏休み学習教室① 個人面談②
25	水	夏季水泳指導② 夏休み学習教室② 個人面談③
26	木	夏季水泳指導③ 夏休み学習教室③ 個人面談④
27	金	夏季水泳指導④ 個人面談(予備日)
28	土	
29	日	
30	月	夏季水泳指導⑤ 個人面談(予備日)
31	火	夏季水泳指導⑥
8/1	水	夏季水泳指導⑦
2	木	夏季水泳指導⑧
3	金	女神湖夏季施設前検診 5年
6～8日		女神湖夏季施設 5年
27	月	2学期始業式 B時程

